

事業部	JS	人事総務部
プロセス	400	労務管理
サブプロセス	20	給与支給管理
業務	2	給与計算センター計算依頼

管理部署：人事総務部給与課  
更新日：2011/12/09  
承認日：2011/12/13  
版番号：2011年第二版

課題対応管理表

課 題					対 応 検 討										実施管理								備考			
図表 I D	業務名	課題 No	ステータス	課題内容	対応要否		実施案							検討者		実施関係者					完了確認者					
					対応要否	理由	対象範囲						改善実施案	懸念事項・リスク	期待効果	実施予定時期	検討者	検討日	実行責任者	説明責任者	協業先	報告先		対応着手日	完了確認者	完了確認日
ITシステム	業務手順	役割分担	帳票・ツール	ルール・規程	組織・人	目標・品質水準																				
400-20-2	給与計算センター 計算依頼	K1	未検討	出向者用勤怠表の付け方のルールの表記の一部にあいまいな点がある。またルールの自体にも一部不備があり、混乱を招いている。記入時に間違いやすい他、間違いについてチェックが機能していない。	要	対策が簡単で費用対効果が良い	○			○	○		出向者用勤怠表の付け方について、問題の書式を修正する。 また、間違いが多い部分についてはチェックポイントのリストを配布し、事前に気づくことができるようにする。	勤怠表の修正については総務課との協議が必要。 書式の修正とチェックリストの配布だけで効果を発揮出来るか、実施後に検証が必要と思われる。	給与計算リードタイムの改善、手戻りの現象（3.5H/月） 給与計算センターへの業務依頼費用の発生を防ぐ（一日遅れると38,000の追加費用が発生する場合がある。）	3ヶ月以内	管理部門業務改善PJ	2011/12/21	給与計算担当者	給与課長	給与計算センター、NNCデータ	人事総務部長	2011/12/21	鈴木 明義		
		K2	検討	問題が発生した場合の勤怠の修正依頼とその処理についてのルールがあいまいなため、期日以降にイレギュラーな形で修正依頼が発生し、対処せざるを得なくなっている。	要	現在の締め日は、給与計算のデッドラインに対して余裕をみて設定しているが、その余裕がなくなることが現実に発生しており、リスクとなっている。					○		やむをえない変更については、所定の書式に記入し、次月以降に精算可能なように規定を変更する。	ルール変更については全社への周知が必要。 人事通達は期末に近い時期に出すと読まれにくい傾向があるので、発信時期を検討する。	給与計算リードタイムの改善、手戻りの現象（3.5H/月）	3ヶ月以内	管理部門業務改善PJ	2011/12/13	給与計算担当者	給与課長	給与計算センター、NNCデータ	人事総務部長	2011/12/21	鈴木 明義		